



議会だより

No.17  
H19.11.14発行

# あさぎり



上小4年生（学童農園）

## いねかり

上小4年生（学童農園）

町民の声	議会のこうき	議員視察研修報告	一般質問	補正予算	決算審査
16P	14P ～ 15P	13P	7P ～ 12P	5P ～ 6P	2P ～ 4P

主な内容

# 好転の兆しあるも いぜん厳しい町財政

## 平成十八年度決算を認定

### 第二回定例会

#### 一般会計決算状況

歳入：97億6,461万円  
対前年比△11億2,385万円

歳出：94億4,711万円  
対前年比△11億9,639万円

実質収支：2億7,701万円  
対前年比 3,655万円

単年度収支：3,654万円  
対前年比 1億9,074万円

実質単年度収支：△5,332万円  
対前年比 1億4,483万円

実質収支…(歳入-歳出)-翌年度へ繰り越すべき財源  
単年度収支…当該年度の実質収支-前年度の実質収支  
実質単年度収支…単年度収支+基金積立+地方債繰上償還額-基金取り崩し額

第3回定例会は、九月十一日(火)から二十一日(金)まで十一日間の日程で開催されました。

初日から三日目の午前中までは一般質問で、十一名が登壇し、企業誘致、人事、教育方針、旧庁舎の活用、簡易水道、財政等について町長の考えを質しました。

三件、請負契約の締結案三件、平成十九年度補正予算案四件。

平成十八年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定十一件等全議案を慎重に審議し原案どおり可決しました。

なお、議員発議の道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書を採択し関係省庁に提出しました。

#### 財政の主な指数等の推移

	平成17年度	平成18年度	備考
財政力指数	0.263	0.265	1に近いほど良好
経常収支比率	96.7%	96.4%	70-80%が望ましいとされる
公債費比率	15.5%	15.2%	15%以上注意 20%以上危険
実質公債費比率 (3カ年平均)	16.3%	17.1%	18%以上で起債に県、国の許可が必要
標準財政規模	59億4,627万円	61億2,250万円	地方公共団体の一般財源の標準規模

財政力指数 基準財政収入額÷基準財政需要額の3カ年の平均値  
経常収支比率 経営費に充当される一般財源の額÷形状一般財源の額×100  
公債費比率 元利償還金に充てられた一般財源÷標準財政規模×100  
実質公債費比率 
$$\frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{交付税算入の元利償還金})}{\text{標準財政規模} - \text{交付税算入の元利償還金}}$$

#### 単年度収支は、好転

平成十八年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算書は、九月十二日の初日に提出され、本会議において、三日間をかけて総務文教、厚生、建設経済の順で説明を受け、質疑をし、二十一日の最終日に総括質問を行い原案通り認定した。

前年度に比して歳入総額で一億円余、歳出総額で十二億円余の減額決算となったが、歳入では町債の六億九千四百万円や繰越

金一億八千五百万円、国庫支出金三億八千八百万円の減額が大きな要因として挙げられる。歳出では前年度あつた給食センターの建設費がなくなり、教育予算が五億九千七百万円減額されたのが大きい。財政再建へ向けての足取りが感じられる決算内容で、単年度収支は昨年度一億五千四百二十万円の赤字から三千六百五十四万円の黒字に転換し、実質単年度収支も昨年同様赤字ではあるが、赤字幅が一億四千四百八十万円減少している。



# 決算審査意見書（要旨）

## 財政の硬直化は、

## なお危機的状況

一般会計、特別会計の歳入歳出決算、基金及び財産の審査を実施した結果、係数に誤りはなく会計処理は適正であると認められた。

本町の経常収支比率は、九六・四％で前年度より〇・三％の減少となっている。これは行財政改革プラン実施計画に基づく三役、町会議員、区長等の報酬のカット等によるものであるが、**財政の硬直化は、なお危機的状況にある。**

収入未済額は、三億二千二百七十万円になる。徴収率を上げるには全職員による徴収体制を整えるなど、早急な施策を構えるべきである。

下水道事業の進捗率は八八・五％で、接続率は六八％となっている。下水道経営は、一般会計からの繰入金二億七千七百二十七万円に頼っており、厳しい財政事情を考える

とき、接続率のアップと使用料単価の改定をセットで検討すべきである。

地方交付税等の増額は期待できず、今後も自主財源不足が続くことが懸念される。町財政の健全化を図るためには、行財政改革プラン実施計画を進めるとともに、各種の委託料、補助金、負担金について見直しを行い、歳出削減に努めるべきである。

代表監査委員 尾鷹正嗣



### 一般会計 歳入科目別決算額

	費目	説明	決算額	構成比
依存財源 79・8%	地方交付税	国が地方公共団体の財源の均衡化を図り交付する財源	48億9,753万円	50.2%
	その他の交付金	地方消費税交付金、自動車取得税交付金等	2億5,668万円	2.6%
	町債	町が必要な財源を調達するための債務	9億2,850万円	9.5%
	国庫支出金	国からの補助金等	5億8,250万円	6.0%
	県支出金	県からの補助金等	8億3,952万円	8.6%
自主財源 20・2%	地方譲与税	国税として徴収され一定割合で譲与される財源	2億7,151万円	2.8%
	町税	町が賦課徴収した租税	10億6,635万円	10.9%
	繰入金	特別会計と基金からの繰入金	2億2,100万円	2.3%
	分担金及び負担金	町が徴収した分担金及び負担金	1億0,605万円	1.1%
	使用料及び手数料	町が徴収した使用料及び手数料	1億7,864万円	1.8%
	財産収入	町の財産から生じた収益など	1億7,138万円	1.7%
	繰越金	前年度からの繰越金	2億4,495万円	2.5%
	合計		97億6,461万円	100.0%

※表示単位未満を四捨五入しているため、集計数字が一致しない場合があります。

### 一般会計 目的別歳出決算額

	費目	説明	決算額	構成比
1	民生費	国保、老人、介護特別会計繰出金、保育所費補助金等	25億3,067万円	26.8%
2	公債費	町の借入金の元利償還金	16億9,557万円	18.0%
3	総務費	財政調整基金積立金、職員給与、交通安全等	11億7,547万円	12.4%
4	土木費	道路、橋梁建設・維持、下水道事業繰出し金等	9億0,125万円	9.5%
5	農林水産業費	農業、林業、畜産振興など	8億9,033万円	9.4%
6	衛生費	健康増進や環境保全など	8億2,761万円	8.8%
7	教育費	学校管理費、生涯学習費など	6億9,859万円	7.4%
8	消防費	上球磨消防組合負担金、消防団運営など	3億6,967万円	3.9%
9	商工観光費	商工業の振興など	1億2,470万円	1.3%
10	議会費	議会議員の報酬など	1億2,077万円	1.3%
11	災害復旧費	台風、大雨等の災害復旧費など	1億1,248万円	1.2%
	合計		94億4,711万円	100.0%

※表示単位未満を四捨五入しているため、集計数字が一致しない場合があります。

# 収入未済額が三億円を突破

## 増加傾向止まらず

合併以来の各種の収入未済額の増加は止まらず、前年度より二千百十三万円増えて遂に三億円を突破。三億二千二百七万円になった。

国民健康保険税の一般分医療の現年度徴収率も、九一・五％と毎年下がっており、普通調整交付金の全額交付基準の九三％を割り込み、本年度も五％減額される結果となっており、厳しい運営を強いられている国保特別会計の足を引っ張っている。

不況を脱していない当地では、払いたくとも払えない人も多いと危惧されるが、決算審査意見書でも指摘

### 平成 18 年度収入未済額及び不能欠損額

費 目	18 年度未済額	17 年度未済額	不能欠損額
町 税	1 億 1,898 万円	1 億 1,096 万円	440 万円
保育所保護者負担金	1,854 万円	2,087 万円	605 万円
公営住宅使用料	764 万円	724 万円	0
国民健康保険税	1 億 6,144 万円	1 億 4,679 万円	405 万円
介護保険料	527 万円	536 万円	0
簡易水道使用料	244 万円	251 万円	15 万円
下水道使用料	213 万円	203 万円	5 万円
下水道受益者分担金	564 万円	519 万円	0
合 計	3 億 2,207 万円	3 億 94 万円	1,452 万円

### 基金の状況

基金の名称	平成 18 年度中		平成 18 年度 現在高
	積立額	取崩額	
財政調整基金	1 億 3,014 万円	2 億 2,000 万円	11 億 2,239 万円
国民健康保険 財政調整基金	21 万円	2,237 万円	2 億 438 万円
上 財 産 区 財政調整基金	472 万円	844 万円	2 億 9,588 万円
救護施設基金	2 万円	100 万円	1,847 万円
定額運用	土地開発基金	10 万円	0
	奨学基金	114 万円	0
	高田之奨学基金	0	0
合 計	1 億 3,632 万円	2 億 5,180 万円	21 億 4,475 万円

町民 17,800 人と仮定した場合、一人当たり基金は約 12 万円

※表示単位未満を四捨五入しているため、集計数字が一致しない場合があります。

### 地方債（町債）及び債務負担行為による借入の状況

区 分	平成 18 年度末	
	現在高	対前年度増減額
総 務 債	52 億 5,732 万円	217 万円
農 林 水 産 債	22 億 4,005 万円	△ 2 億 1,743 万円
土 木 債	53 億 8,637 万円	△ 2 億 3,738 万円
消 防 債	1 億 8,546 万円	△ 2,311 万円
教 育 債	11 億 1,020 万円	△ 6,641 万円
災 害 復 旧 債	6,687 万円	△ 93 万円
下 水 道 事 業 債	59 億 7,323 万円	2 億 3,484 万円
簡易排水事業債	1,804 万円	△ 68 万円
簡易水道建設債	28 億 748 万円	△ 1 億 5,814 万円
債務負担行為による借入	14 億 5,455 万円	△ 8,285 万円
合 計	244 億 9,957 万円	△ 5 億 4,992 万円

前年度比で5億5千万円の減額となり、町民17,800人と仮定した場合一人当たり借入金は137万6千円

※表示単位未満を四捨五入しているため、集計数字が一致しない場合があります。

# 1億8千241万1千円を追加し、 106億9千892万3千円に 19年度一般会計補正予算(第2号)を可決!!

## 主な補正内容

### 総務費



#### ●企画振興費

三〇万円

(説明) 企業誘致にともなうもの。

#### ●基金費

三、九〇〇万円

(説明) 財政調整基金積立金。

### 民生費



#### ●社会福祉総務費

三三四万二千元

(説明) やさしい町づくり。建築物整備促進事業補助金。福祉乗り合いタクシー補助金等。

#### ●老人福祉費

一四万七千元

(説明) 印刷製本費(後期高齢者医療制度パンフレット作成)。

#### ●障害者福祉費

九三万九千元

(説明) 障害介護給付費等審査支払手数料。国庫補助金償還金等。

#### ●保育所費

三〇万円

(説明) 上第二保育所創立五〇周年記念行事補助金。

### 衛生費



#### ●保健衛生総務費(減額)

△一億八、四八〇万円

(説明) 公立多良木病院建設事業負担金の減額。(公営企業債分は公立多良木病院が直接借り入れる為)

#### ●塵芥処理費

二七万二千元

(説明) 人吉球磨広域行政組合負担金(ゴミ処理費)。

### 農林水産業費



#### ●農業振興費

三八二万二千元

(説明) 地域特産物産地づくり支援対策事業補助金。元気人気くまもと農業運動チャレンジ支援事業補助金。園芸新たな挑戦強化対策農業補助金等。

※単県補助金(トンネル補助金)。

#### ●農業経営基盤強化促進対策事業費

一、三五五万九千元

(説明) 地域営農組織育成緊急支援事業。組織ステツプアップ活動委託料(二八組織)等。

※国・県補助金(トンネル補助金)。

#### ●水田農業経営確立対策事業費

二八五万円

(説明) 転作補助金(集落未加入者)。

#### ●畜産事業費

一八五万円

#### ●林業総務費

二二万九千元

(説明) ふるさとの四季を彩る森づくり運動事業補助金。

※県補助金(一〇〇パーセント)。

#### ●林業振興費

五、三〇一万円

(説明) 林業木材産業振興施設等整備事業補助金(協同組合くまもと製材)。

※国・県補助金。

#### ●林道維持費(減額)

△三三万八千元

(説明) 機械借上料減額。※山林監視員により町の直営施工。

### 土木費



#### ●道路橋梁総務費

七九二万四千元

(説明) 県工事負担金。※多良木相良線。

◎トンネル補助金……国や県からの補助金を町がそのまま事業者へ交付するもの。

## ●道路改良費

三〇〇万円

(説明) 工事請負費(神殿原線)。公有財産購入費(岡原永北線)等。

## ●河川総務費

一五〇万円

(説明) 単県砂防事業負担金。

※上地区(宮川内川) 深田地区(荒茂川)。

## 教育費



## ●学校管理費(中学校)

五七万九千円

(説明) 設計委託料(免田中学校図書室雨漏れ工事)。部活動各種大会出場費補助金等。

## ●公民館費

二〇万円

(説明) 公民分館施設整備費補助金。

## 災害復旧費



## ●林道施設災害復旧費

八五四万円

(説明) 工事請負費(林道星原線)。

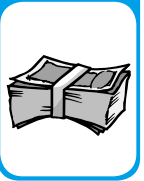
※七月十九日からの豪雨で再崩落。

## ●公共土木施設災害復旧費

一、七四二万円

(説明) 工事請負費。消耗品費。コピーリース料等。

## 公債費



## ●元金

二億一、一五〇万三千円

(説明) 長期債元金減額(△一、六五一万三千円)。長期債繰上償還元金(二億一、八〇一万六千円)。

## ●利子(減額)

△二七八万五千円

(説明) 長期債利子。長期債繰上償還利子。

## 条例の改正

※あさぎり町介護保険給付費準備基金条例

○介護保険については、これまで「繰越金」で対応していたが今後は、「基金」を設置して管理していく事になる。

**区域外における公の施設の設置に関する協議**

※あさぎり町水道施設設置に関する協定書

○本町の簡易水道施設の給水区域の一部が他町村の一部地域に永年給水している事実を踏まえ協議するもの。  
岡原↓多良木。免田↓錦。須恵↓多良木。上↓錦。

**上川北地区簡易水道事業工事請負契約を締結**

※上川北地区簡易水道事業施設整備工事についての入札が行われ、それぞれ工事に工事請負契約を締結することになった。

- 一 工事名 上川北地区簡易水道整備 工事(土木・導水管)
- ・工事内容 簡易水道事業 土木・導水管布設工事
- ・工事場所 あさぎり町上東地内
- ・契約金額 五千三百五十五万円(内)

(税)

- ・契約の相手方 人吉市西間上町二四七九番地一 丸昭建設株式会社
- ・代表取締役 松村陽郎
- ・契約の方法 指名競争入札

- 二 工事名 上川北地区簡易水道整備 備工事(電気設備)
- ・工事内容 簡易水道事業 電気設備工事
- ・工事場所 あさぎり町上東地内
- ・契約金額 六千四百四十万円(内税)
- ・契約の相手方 熊本市十禅寺二丁目四番十二号 飯塚電機工業株式会社
- ・代表取締役 松尾修一
- ・契約の方法 指名競争入札

- 三 工事名 上川北地区簡易水道整備 備工事(機械設備)
- ・工事内容 簡易水道事業 機械設備工事
- ・工事場所 あさぎり町上東地内
- ・契約金額 一億千七百八十二万円(内税)
- ・契約の相手方 福岡市博多区博多駅前二丁目二十番二号 磯村豊水機工株式会社福岡支店
- ・支店長 国崎 潔
- ・契約の方法 指名競争入札

**問** 予定価格は最低制限価格を定めてあるなしに関わらず、公表しているのか。

**答** 予定価格は、事前公表。最低制限価格は、入札後の事後公表としている。

**問** 最低制限価格が有効に作動しているとは思われないが、今後最低制限価格を設けるのか。

**答** 公平公正に正しい入札が行われるような改善策を考えたい。

**問** 設計価格はどれくらいか。公正取引委員会は予定価格は事後公表が望ましいと言っているが、どう思うか。

**答** 設計価格については、入札前も入札後も今は公表していない。予定価格の事後公表については、それも選択の一つと捉えている。

**問** 審査関係で時間がかかるといふ理由で一般競争入札をされなかったが、どこがどれだけ時間を取るのか。

**答** 時間的問題だけではない。他町村がやっていないから、やらなかったのではない。どこまで枠を広げるか、例えば九州内か、また日本全国を対象にするのか等の整理する必要があると思う。

一般競争入札については、もう少し勉強させて頂きたい。



## ◎立地企業のメリットは

### 木材産業の振興と雇用促進



瀧田 勇一 議員  
(上)

問 岡山県の銘建工業が参画する協同組合くまもと製材とあさぎり町は、県の立会いのもと八月十七日に立地契約の調印をしたが、具体的に町民に公開して欲しい。又、立地によるメリット、デメリットは。

町長 公開は町広報誌十月号

## ◎職員の人事異動について

### 職員幹部とも話し合いながら進めていく



奥田 公人 議員  
(岡原)

問 前は、前回の一般質問でも『職員の人事については選挙に関係なく、本当にやる気のある人、能力のある人はどんどん引き上げて欲しい。』と進言した。町長は、どの様な基準で職員の人事異動に当たられる考えか。又、時期はいつごろか

でお知らせする。立地の場所は深田地区内県森連跡地、業種は製材加工、間柱、集成材、で雇用は、当初二十七名、三年後四十七名体制の予定。二十四事業体の協同出資、理事長は中島浩一郎銘建工業社長、他四名の役員構成。メリットは林業、木材産業の振興、雇用促進等。デメリットとしては、大型トラックの通行増による安全面、騒音等。又、地元製材業界への素材不足と価格上昇。

問 地元業界の素材調達と価格急騰、さらに山林乱伐等が心配、これからの対応は。

町長 安全確保、公害対策を

適当と考えておられるか伺う。

町長 一、連帯感で考え行動できる人。二、人から信頼を持たれる人。三、勉強する意欲があり、強い意思を持っている人。四、何事にも前向きで実行力のある人。私はその様な人を基準に考えていきたい。

人事異動の時期は、平成十九年度内、来年の三月までになると思う。非常に大事な事なので職員幹部とよく話し合いながら進めていきたい。

問 公平公正で、透明性の高い人事異動をお願いしたい。

町長 あさぎり町が誕生して五年目を迎えるが、職員の中には一定の部署に長期に在職する人、

第一に充分協議し、地元業界へ素材が不足する場合は県も入って安定を図る。乱伐防止は素材育成の見地から指導の充実を図っていく。

方向を進めたい。

問 町長の企業誘致活動は。

町長 専従職員二名を配置し情報収集、陳情等に当たらせる。

問 トップ外交が進むよう早く副町長の設置を希望する。次に新体制の教育委員会は町の教育大綱をどう考えるか。

教育長 国県の方針を見て町の教育大綱見直しを検討する。中学校統合については、議会特別委員会の意見、住民の意見等を拝聴し納得される

短期間で数回も異動を受けた人など様々である。町職員の人事異動は町長に付託された権限だと思いが、町長の考えと今後の対応について伺う。

町長 長期過ぎると弊害もあるうし、余り短くても勉強する時間もないので、やむを得ない場合を除いて三年から五年が一応の目安ではないかと考える。人事については、やる気の出る体制を考えて取り組む。

問 男女の均等は雇用の機会だけでなく、勤続中の処遇も均等でなければいけない。あ

さぎり町の状況を見ると、果たして男性職員と女性職員が均等に扱われているか疑問に思

う。町職員総数二六五人中一〇五人が女性職員で、全体の約三九・六パーセント。十人いる課長・局長職に女性はゼロ、二十七人いる審議委員・課長補佐のうち女性はわずか一人。女性ならではの細かさや、優しさを町政に反映させる為にも、能力のある優秀な女性職員を管理職に登用すべきと考えるが、町長の所信を伺う。

町長 優秀な女性については男女に関係なく機会を与えて仕事にチャレンジできる場をつくっていききたい。

◎公用車の小型化と低公害車導入についても質問しました。

環境整備課長 住宅四百二十三戸、待機者三十五名、高所得者一名で高所得者には明け渡しを指導している。

問 中別府川氾濫に対し熊本県、あさぎり町、錦町の三者協議による対策樹立を要望しておいたが。

産業振興課長 錦町に申し入れた。県は治山事業を考えている。又、担い手育成事業で排水終末処理方法も考えられている。

◎教育方針について

「メディアを通じて発信する事も大きな使命」



浦本 秀正 議員  
(免田)

問 一般質問の前に愛甲町長になってから、免田小学校正門横の排水溝や岡原温泉センターのレジオネラ対策、八幡住宅前の道路の傷み修理そして、青パトカーによる子供たちへの登下校の安全対策や青少年の非行防止の尽力などに

◎旧岡原庁舎を生涯学習センターに並立した図書館に

町の施設などを精査して見極めたい



宮原 盛幸 議員  
(岡原)

問 〓あさぎり町はこれから先、高齢化社会が進んでいく。そこで高齢者に生き甲斐のある環境を提供することが行政の責務であると考えます。グラウンドゴルフ等の運動をされる人、温泉でゆっくりくつろがれる人、図書館で読書される人、

一生懸命頑張っておられる姿を実際に目にしたので、まず御礼と感謝を申し上げ、質問に入る。

新教育長に対して町長はどんな点を期待するか。

町長 〓町の職員がいろんな課題について、迅速に対応し何でも真剣に受け止め、行動することに嬉しく思っている。

松尾教育長や教育委員会には、教育の立場から遠慮なく(行政の)私どもに言ってもらいたいと思っている。

問 〓教育長は社会教育の活動をどのように展開する予定か。

教育長 〓一つは学習活動。二つ目はより良い地域を作る活動。この二つが公民館活動の中にあると思う。

問 〓生涯学習や子供の教育のホームページは五月でストップしているが、もっと活発に活用する考えはないか。

教育長 〓全くと指摘の通り。随時新しくし、メディアを通じて発信することも、大きな使命だと考える。

問 〓議員必携の本の中に議員と執行部とが、互いに牽制しあうことを教えた言葉「議員と執行部は一步離れて二歩離れるな」とある。この言葉は町長や、執行部側からも言える言葉と思うが。

町長 〓「一步離れて二歩離れるな」という話はしっかり受け止める内容と思う。ここはおかしいぞと思うことは遠慮なく言ってもらいたい。

町長 〓私たちが議員は、町のために一生懸命頑張っているかなければならない。

問 〓熊本県は他県に比べて公民館の数が少ない。なぜ、旧岡原庁舎を提案するのは遊休地の有効利用はもちろんだ、その静かな環境と広い駐車場。旧庁舎の構造からして改築するのにピッタリである。

町長 〓旧岡原庁舎の跡地利用として提案してもらったが、免田の給食センター、旧上庁舎等があり雇用促進プロジェクトで二人おいたもので、空き地、空き家(民間も含めて)全部調べたい。

問 〓私は常々、財政の厳しさを言っているが少ない資金で最大の効果をあげるのが予算執行のポイントである。旧庁舎の本体はしっかりしているし、これを壊すにも金がある。町民の皆様は喜ばれ、子供たちの教育水準を上げる事ができれば、金の使い方としては最も良いのではないかと。

町長 〓このことはしっかり受け止めていきたいと思います。

町長 〓「一步離れて二歩離れるな」という話はしっかり受け止める内容と思う。ここはおかしいぞと思うことは遠慮なく言ってもらいたい。

町長 〓「一步離れて二歩離れるな」という話はしっかり受け止める内容と思う。ここはおかしいぞと思うことは遠慮なく言ってもらいたい。



## ◎川辺川利水事業について

水を引くことを常に頭に持って動いていく



櫻山 保議員  
(深田)

問Ⅱ川辺川利水事業は一部事業組合で議論されているが、あざざり町の川辺川総合土地改良事業推進協議会の中で町長の考えを述べていただきたい。特に「任期中にこの事業は絶対にやる。先延ばしは出来ない。やめる事は絶対にない。」

## ◎上川北地区簡易水道事業の総費用は

十三億五千万円を見込む



橋爪 和彦議員  
(深田)

問ⅠⅡ本町の実質公債費比率は、十七・一%。十八%から起債発行に国、県の許可が必要で、危機的状況にある。一方で、簡易水道特別会計は、一般会計からの繰入金二億二千万円超に毎年度頼って運営されているが、これは起債の

い」と言われたが九月六日の熊日新聞に「農相事業休止に言及」という記事が載っていた。これまでの経緯と今後の取り組みについて伺いたい。

町長Ⅱこの問題は国、県と現地の六市町村が一緒になって動かないと先に進めない。相良村が参加しないということであれば先に進めることが出来ないと言われている。

農家の皆さんにさちつと説明をしなければならぬと言う事で今動いている。(説明会を一会場一回の開催で時期は十一月第二週をめどに実施したい)。

問Ⅱもしこの事業が中止に元利償還金と同様に取扱われるという。

①川北地区簡易水道改修工事の総費用とその内訳、償還のピーク時の金額は。

町長Ⅱ総費用十三億五千三百万円を見込む。国庫補助金四億八百五十万円、過疎債四億三千五百万円、簡易水道債四億八千万円が主な内訳。償還は二十七年で五千三百万円が必要。

②簡易水道水1mあたりの供給価格と供給原価は、幾らになるのか。

環境整備課長Ⅱ十八年度の供給価格は百二十二円で供給原価は百六十三円。工事完成後

なった場合、水が来るという前提で造成された工事費の農家負担金はどうなるのか。

町長Ⅱ休止を前提に話しをする事は出来ない。いかなる事態になったとしても何とか農家の方に水を引くという事を常に頭に持って動いていく。

の供給原価は、二割増と試算している。

③現在1mあたり四十一円の逆ザヤで将来はもつと赤字幅が膨らむようだが、対応策は。

町長Ⅱ選択肢は値上げか一般会計から繰入れるのだが、情報公開をして、町民の理解を得たい。

問ⅡⅡ一般競争入札制度導入は、避けて通れない時代の流れ。町長の意気込みは。

町長Ⅱ一般競争入札にもメリットとデメリットがある。今は、先進自治体の事例を確認しながら、慎重に見極めていきたい。



水を待つ造成地

問ⅢⅡ本町は、人口に比して職員数が多いというが、それにしては外部に仕事を出す委託料が多すぎないか。

町長Ⅱ委託料については、やりようによっては、下がるものを含んでいると思う。(以下の事項についても質問しましたが紙面の都合で詳細は割愛します。)

- ①簡易水道、新深田水源の水量不足について
- ②入札監視委員会の設置の考えは
- ③電子入札の準備状況はどうなっているか
- ④下条村の画期的な入札制度についての考えは

◎町民の安全確保について

優先的に取り組む



桑原 武夫 議員  
(深田)

問 深田に「銘建工業を親会社とする『協同組合くまもと製材』の誘致により住民が一番心配しているのが、周辺道路の安全整備の確保である。郡市二円より搬入が見込まれ、大型トレーラー等の交通量の増大が予測されるが、このこ

とを踏まえた場合、鷺巣地区の子供達の通学路で、内山―鷺巣間の歩道は絶対必要と思うが。

町長 〓私は、「歩道のある町」をターゲットに今後もやっていきたいと思っているし、まず通学路関係が優先であり、今後整備していくべき場所の一つと考えている。

問 〓近年、猪、鹿、猿、カラス等の被害が多く、特に猿の被害が大変深刻である。深田地区に於いてもかなりの被害があり、人災までもあっている現状であるが、どう受け止めておられるか。

町長 〓深田だけではなく他の起案、プラン、総合計画等をそれぞれ確認してもらうことと、地域を活性化するための方策を検討、課題提起してもらい、関わりとなってもらいたいと思う。

問 〓各支所は地区住民の拠り所であるが、時期、時間帯によって利用の格差があり、若い職員からは攻めの行政ができない等の声もあるが、今後の活用について伺う。

町長 〓もう少し機能強化できるのではないかとすることも含め、地域活性化の拠点として職員の配置等、総合的に少し見直したい。

地域の方からも農作物の被害が多大であると聞いていますし、確認している。

問 〓農作物の被害も深刻だが、子供達の通学路にも出没する為、保護者の方が車で送迎している現状である。二群れ約百匹の猿を田んぼで見たが異常な光景であった。今後の獣害対策はどう考えておられるのか。

産業振興課長 〓獣害対策は、町でも被害が多くなってきたという実態は把握している。対策として、郡内の町村長を中心に広域的駆除の実施について、国、県等への要望も行っている。担当課としては、補

利用による定住促進策として、企業誘致や住宅の建設による人口歯止め策等の地域活性化策が必要と思うが。

町長 〓各地域があまり偏らずに、できるだけ元気の輪が広がるそういう施設とか、環境づくりを満遍なくしていく必要があると思う。そのため、地域審議会が前向きな検討会になるよう活用したい。

問 〓子供のころから、行政、議会等の仕組みについて学ぶことは大切だと思う。中学校による子供（生徒会）議会の開催はできないか。

助事業等で捕獲事業を実施している状況。

問 〓獣害駆除として、あさぎり町独自の対策協議会をつくり、行政・猟友会、そして住民の方々と一緒になった駆除対策が必要と思うが。

町長 〓獣害対策は、深刻な問題であり、先日、人吉で熊本、鹿児島、宮崎の県境の人も集っての検討会も開催されて、大がかりな取り組みが必要だと認識している。町だけでなく、郡、市、県と協力した体制で進めるように取り組んでいきたいと思う。

来年度の計画を立てる時、各校長先生方に伝えたい。

問 〓外から我が町、我がふるさとを見ることは大変大切で、特に子供達を始め、若いうちにそれを経験させること。町づくりは人づくり、先進地への視察研修はできないか。

町長 〓自分で体験することは非常に大事なこと。是非、来年度予算でまず幾らかの予算を確保したい。

◎地域（校区）の活性化対策について

活発な意見交換と方向づけができるよう取り組む



久保田久男 議員  
(須恵)

問 〓地域審議会の今後のあり方として、もつとグレードアップして各地域の活性化のため、中心的役割を果たすような機関にできないのか。

町長 〓現在の十五名から十名体制にする。審議会の大きな取り組みとして、町の企画、



◎入浴施設の燃料費抑制のため、木質バイオマス利用に取り組む考えは

事前調査の補助事業から手がけていきたい



小見田和行議員  
(岡原)

問 世界環境の保全は、世界の共通語となり、地球温暖化を防ぐために二酸化炭素削減に向けて、国際的に努力はされているものの排出量は、ほぼ一貫して伸びているといわれている。その対策として木質バイオマス燃料は「カーボ

◎町所有の古民具の取扱いについて

活用することを検討していく



尾方球三郎議員  
(免田)

問 中球磨農協より免田町が贈与を受けたあさぎり町所有の古民具の管理状況について問う。

多良木町在住だった方から、中球磨農協が永久保存し展示するというので寄贈した古民具はどこに展示してあ

ンニユートラル」という利点があり、大変環境にやさしい新エネルギーとして今後脚光を浴びるものと思われる。来年、あさぎり町で稼働される(有)熊本製材も、木くず等のバイオマスを発電、乾燥に活用されると聞いている。その組合の中心をなす銘建工業の岡山本社工場においては、木質バイオマスで電気も百パーセント自給され、木質ペレットの製造も行っておられる。

あさぎり町内の複数の温泉施設も加温用重油の高騰に苦慮されているものと思う。重油から、木質ペレットに換えるのかと尋ねられ、岡原の旧庁舎の中にあると報告はしたが現在の管理状況は。

町長 古民具の保管状況を見たが、正直言って管理されている状況ではない。何度かの移転で名簿すら分からない状態になっている。まず、ナンバー登録して管理し、ある程度小綺麗な状態にしておくことを第一段階と考えている。

問 寄贈された元の所有者の方々のその想いはどう考えておられるのか。

町長 大事に使った古い農作業機・古民具を本当は自分で保管したいところを、一括して展示し、今後活用される

た場合の試算を行ってみたら、A温泉の年間の重油代が約一、一五〇万円だったが、木質にしたら、約五〇〇万円安くなるという結果が出た。二酸化炭素削減量も、一般家庭の七十八世帯分の削減量と同量である。木質用ボイラーも高価なので、すぐに換えるのも早計かと思われるが調査する考えはないか伺いたい。

健康福祉課長 石油代替エネルギーに対する事前調査の補助事業に応募していきたい。

◎遊休資産について

問 市町村合併には重複する公共施設の統廃合は必然であり、その問題の早期解決は周知である。同じ立場に立てば、ことであれば寄贈しようというのでなされたものと思っ

町長 免田町が引き受けた時の約束書の文書は。教育課長 中球磨農協から免田町に移管する際の取り交わし文書はない。

問 当時関係された郷土史家の方々は残念ながらお亡くなりになっているので、確認の仕様が無い。幸い、当時の行政長と農協の長は御存命だ。どの様な条件であったのか町長に確認をいただきたいがい

辺地域の活性化と財政の健全化が重要と思う。合併五年目を迎えたが、遊休化した土地、建物について外部から専門家を交えた協議会等で方向性を見いだす考えはないか。

町長 まずは内部で方向付けをする。十月発足の雇用プロジェクト二名に現状を把握させたい。

町長 町長として自らいろんな状況を聞いて欲しいという事なので、この件については時間をとって話をするようにしたい。



保管されている古民具(旧岡原支所)



◎あさぎり町の財政状態は

危機的状態だと考える



松本 光弘 議員  
(免田)

ことが基本と思う。まず職員  
の意識改革が一番最初の仕事  
と思うが。

**町長** 〓 そのとおりと思う。だから自分達が置かれている環境の厳しさ、状況をしっかりと知ることが意識改革になる。その為に予算、面積など同じような類似自治体とあさぎり町の比較などを始めている。花がいつぱい咲いている町、おはようと挨拶する町をめざす。なお、意識改革は町民も一緒になって進めなければと考える。

**町長** 〓 企業が目で見れば、非常に危険な状態だ。町の予算が百億円ちよつとに対し借金が二倍以上ある。その上に人口比に対する職員数も多い、そんな中であさぎり町の経営の収支を合わせていくことは大変で非常に厳しい状況である。

**問** 〓 自治体も企業も財政を健全化するには基本的には同じだ。住民を大切にすること、そして住民に信用を得ること、企業はお客を大切にすること、

出来るように頑張ることが一番と思うが。  
**町長** 〓 私も開札調書を見てびっくりした。しかし、自分なりに厳しく対応している。今後入札についても改善していく。住民に信用を得るよう努める。

議員視察・研修報告

岡山県真庭市 <sup>めいけん</sup> 銘建工業(株)、徳島県上勝町 <sup>いろどり</sup> 彩(株)  
長野県下條村 <sup>しもじょうむら</sup>・南箕輪村 <sup>みなみみのむら</sup>

研修費用総額 2,067,220 円

総務文教常任委員長

松本 光弘

長野県下條村は、人口が四千二百十六名で高齢化率二十八・九%、出生率は二・一二人で全国平均の一・二六人を大きく上回っており若者定住のための集合住宅や、室内プール、文化施設などの建設がなされていた。そして、若者が住みよい村にするために、医療費の控除を

中学生まで行い子育てしやすい環境がつけられていた。また、徹底した節約のために村道の工事などは住民が資材の提供を受け仕事をし、公共工事の費用も5分の1に圧縮されていた。  
長野県南箕輪村は、図書館がすばらしい所で、子供達に本を読ませるために村には約七万冊の蔵書があり保育園にも本を貸し出していた。また、お年寄りが公民館などで子供達に本の読み聞かせをする文化が根付いていた。ちなみに南箕輪村の本の購入費は一万四千人で六百万円。あさぎり町は学校図書費を含めて二百九十七万円です。

中学生まで行い子育てしやすい環境がつけられていた。また、徹底した節約のために村道の工事などは住民が資材の提供を受け仕事をし、公共工事の費用も5分の1に圧縮されていた。  
私が一番感心したのは、私達を迎える応接室にクーラーなどなく村をあげて節約・節約している姿だった。



若者向け集合住宅 (中央の建物)

浦本 秀正

視察の内容は、企業誘致による地元への影響、雇用の創出、さらには林家あるいは運送家への経済的な波及効果を調査するもので、一日目は岡山県の銘建工業を視察した。

施設の規模としては、非常に目を見張るすばらしいもので、工場内の整理整頓には感心させられた。

会社内容の説明を受けた後、質疑の中で、九州最大クラスの製材工場の進出による地元の製材業者への経済的圧迫や、熊本県の十二％に当たる材木を扱うことでの値崩れの心配、そして、山林従事者が不足し、大型機械に頼らないか、その結果、大型機械などによる素材搬出で山が荒れないか。

また、一日十ト車が約四十台行き交う深田地区の交通路の安全確保はどうかなどの疑問点について回答を得た



箱詰め、山ぶどうの葉、南天の葉

が、実際に動き出すまでわからない部分もあったが、それぞれの課題について誠意をもって取り組む姿勢が見られた。

二日目の徳島県上勝町は「いつきゅうと彩の里」をキャッチフレーズとした町で、人口二千二百二十四名、高齢者比率四四・一％。まず、水芋の葉っぱ、笹、

山ぶどうの葉、もみじの葉、南天の葉を丁寧に箱詰めしている現場に行った。

小さな箱が二百から二百五十円で取り引きされているという。畑や庭を見るとそれらの原料がさりげなく植えてあるのが目にとまった。

地域にあるものは、すべて金にするシステムは一朝一夕にできたものでなく、市場調

永井 梓

一日目の、岡山県の銘建工業(株)は、日本でも屈指に入る集成材工場であり製材所という想像にも絶するものであり、すべてがオートメ化となつて近代的な工場であった。

工場内で驚いたのは、全くほこりがなく立派に整理整頓がなされていたこと。

深田にできる工場では、雇用については、スタート時二十七名の職員で地元雇用を二十名程を考えているとのこと。

そして、三年後にはプラス二十名の雇用を計画しているとの説明であった。

あさぎり町への進出にともなう色々な問題点については、地元の同業者との共存策を図り、そして公害対策についても万全に対処したいと、強い社長の意向であった。

徳島県上勝町の第三セクター「いろどり」代表の横石先生の講義は「回程聞いたが「百聞は一見にしかず」とあるが全くその通りであった。

レストランあり温泉あり、そして溪谷のほとりは、キャンプ

場・水泳場とあり、多くの人でにぎわっていた。

「彩」事業、つまり料理の時に使う「つまもの」であるが、現在の年間の販売額が二億六千万円にも上がつており、会員は百九十名、平均年齢が七十才だそうです。生産農家の中には月に二百万円以上、年間二千万円以上を売り上げる人もおり、老人が元気なために老人ホームも閉鎖したと言う。

上勝町においての事業は、ごみゼロ宣言の町、有償ボランティア活動、バイオマス事業、いつきゅう事業と色々な活性化を図っており、あさぎり町の今後に多くの知識を得た。



集成材で作られた梁 (はり)



## 一部事務組合議会報告

### ◎公立多良木病院組合議会

平成十九年七月二十三日(月)

第四回臨時会が開催され、平成十九年度公立多良木病院組合病院事業、老健事業及び健診事業会計補正予算一件、議員発議一件が提案され、原案どおり可決した。補正の主なものは、病院増築改修工事費で、構成四町村が、過疎債を申請し、各町村において工事費の半を負担。工事費の残る半を当病院で企業債として借り入れることになる。

平成十九年九月九日(日)

平成十九年度第五回定例会が開催され、平成十九年度球磨郡公立多良木病院組合病院事業、老健事業及び健診事業会計補正予算、平成十八年度公立多良木病院組合病院事業、介護老人保健施設事業及び総合健診センター事業会計決算、平成十八年度公立多良木病院組合上球磨地域包括支援センター特別会計決算、平成十八年度古屋敷診療所特別会計決算、平成十八年度槻木診療所特別会計決算が上程され、全議案原案どおり可決認定した。

### ◎川辺川総合土地改良事業組合議会

平成十九年八月二十八日(火)

平成十九年度第四回定例会が開催され、空席であった副議長に錦の佐藤一臣議員、議会運営委員に人吉の高野議員、多良木の平野議員、相良の田端議員が選任された。諸般の報告の中で、相良村長によって提唱された、六市町村長会議が相良村の脱退表明により混乱しているが、会議継続を了承した。内山組合長から**(事業休止に追い込まれる可能性がある。廃止になった場合、水が来なくても、畑地造成や改良工事を行った場所については個人負担が出てくる事は間違いない。)**との説明があった。

平成十八年度川辺川総合土地改良事業組合一般会計歳入歳出決算を、原案どおり認定。平成十九年度川辺川総合土地改良事業組合一般会計補正予算、二八三万五千円を追加し、六千九百二十八万六千円とし原案どおり可決した。又、これまでにかかった費用のうち地元負担の運営費が、総額十六億八千五百万円。あさぎり町は、三億五千二百万円支出している。

### ◎人吉球磨広域行政組合議会

平成十九年八月二十三日(木)

平成十九年度第三回定例会が開催され、毎月の理事会の報告があった。六月は、組合監査委員の選任、事務局長の派遣について。七月は、元人吉市長福永元代表理事、又これに関わった人達に対しての損害賠償の提起等。一般質問には、久保田議員(多良木)、松田議員(人吉)、仲村議員(人吉)、笹山議員(人吉)が執行部の考えを質した。

一般会計の補正に、損害賠償として、アタカ工業から三億三千四百九十五万円の歳入があった。現在特別委員会が二つあるものを、今回廃止し、一つの特別委員会(組合の共同処理する事務に関する調査特別委員会)を設置。委員長に、あさぎり町の永村議員、副委員長に人吉の西信八郎議員が選出された。





## 常任委員会活動報告

### ◎厚生常任委員会

平成十九年八月七日(火)

乳幼児医療費無料化を、就学前乳幼児から六年生まで引き上げた場合の必要事業費の調査。

愛甲町長のマニフェストの、「小学六年生まで医療費を無料化」を受けて、担当部局に説明を求めた。その結果、四十八市町村中、阿蘇市、嘉島町、永川町の三市町が小学生無料の補助対象。四十一市町村が就学前の無料。中学生までを補助対象とした町村は、産山村、南阿蘇村。十九年四月から、短期給付制度の一部変更によって、乳幼児の自己負担二割の対象年齢が、現行の三才未満から、義務教育就学前までに拡大される。その制度変更した場合を推定して助成金額を比較すると、一千二十六万円強の負担増が予想される。一千万円強の負担増は、一般財源から支出をお願いしたいと説明を受けた。

### ◎建設、経済常任委員会

平成十九年八月三十一日(金)

今回は、すべて現地調査。

#### (1) 深田地区町有林における植栽樹木の調査

五十年生の檜の山五・四畝で、その半分位で孟宗竹が繁茂し、檜が枯れ始めた。早急に竹を除去しなければ立木の価値がない。二十年度には対処したいとの事。

#### (2) 中山間地域等直接支払い制度の事業地域内の放棄地調査。

(3) 防災会議資料に掲載されている災害が予想される河川の調査。

深田・高山地区の田頭川、ヨシガヤが繁茂し、早急な整備が必要。管轄が県であり、県に対して強い要望を要求。

#### (4) 皆越簡易水道の現状調査

硬度、いわゆるカルシウム・マグネシウムが他の水源より高い。煮沸すると凝固し、やかん等を長く使用すると、スケル化が見られる。早急な対策が必要。

#### (5) 平成十九年度、町道新設及び改良箇所調査

道路改良は八路線。一路線は歩道整備。七路線は拡幅工事。幹線道路と位置づけてある神殿原線は、まもなく完成。



孟宗竹が繁茂した町有林 (深田)



ヨシガヤが繁茂した田頭川 (深田)

# どろころ生かされて

須恵 田原 幸子

肩を組んでスタートに立つ幾組かのカップル。将来を担うまばゆい程の「夫婦円満リレー」。

須恵地区体育祭は、出番のない年寄りにとって、必ず焼き付け

ておきたい場面でしたのに、半日で終わり残念でした。高齢になると、三〇m位小走りでもヤ

ヒを焼いて、ドリンクを飲んで備えるものです。オリンピックより重大です。この頃、自分に

及ばない言い事を口にする様になり、気をつけています。しかし、「転んでも起きる」「失敗してもやり直す」たくましい精神

がもつとあっていいと思います。たとえ、結果がどうであれ、一つでも得る所があればいいと思います。可能性は皆で作るものです。

自分の名前も聞こえない位、話がつきません。

議会、教育、福祉、くわしくは判らうともせず暮らしています。それでも、安心です。議会

や役場の方々が頭をひねって頑張つて下さるおかげだと思えます。これ以上、不満は言いません。

百姓も、一人でするのも又楽し。田植えから稲刈りまで、配布された「稲作り基準表」を見て、計画的

に農薬散布、水かけ引き、毎日の立派なトレーニング

です。仕事するも、又楽し。鹿も田植えと同時に

稲刈りに、又出てきますが仕方なし。ネット・ラジオ・

ポカポカ電池・かかし、色々対策して田植え、稲刈りまで、おかげ

様で良く実りました。雨風の中も、じつと立ってくれたか

かし。「きつかったね。来年も頼むよ」と輪車に積んで帰

る時は、自分の体の様です。収納舎の(空)に、来年を待つて横たわっています。

年金も、もろたしこです。思う存分働いて、笑い、どろころ生かされています。

(注一) お灸のこと (注二) 二階のこと



## 編集後記

ようやく秋本番を迎えましたが、今年の猛暑には驚きました。北極海の氷もコンピュターの予測を上回る速さで溶けているとか。地球温暖化を実感させられた夏でした。

あさぎり町は、合併による優遇措置を受けられる期間の半ばに差し掛かっています。財政は現状でも厳しく、将来予想される深刻な危機を、福祉や教育の後退なしで回避するには、今、町は何をすべきか。議会では、本町の現在、過去、未来にわたる広範な分野で議論を行っています。

「議会だより」では、そんなやりとりを、出来るだけ分かり易くお伝えしたいと思っておりますが、難事です。今後も精一杯努力する所存ですので、皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。

これから寒くなります。ご自愛のほどお祈り致します。

広報委員長 橋爪 和彦

# 町民の声